

### 中央中生が校区の小学校で活躍！

～中学生が地域学校協働活動の担い手となる取組～  
～小中一貫教育における相乗的・補完的な指導の取組～



吹奏楽部の演奏（対雁小にて）



吹奏楽部の演奏（中央小にて）



科学部のペットボトルロケット実験ブース（対雁小にて）



出店運営のお手伝い（対雁小にて）



出店運営のお手伝い（中央小にて）



出店運営のお手伝い（中央小にて）



「With」NO 3,4に掲載していますように、中央中学校区内の2つの小学校のPTA主催行事に、中央中学校の生徒がたくさん参加しました。吹奏楽部は演奏を披露し、科学部はペットボトルロケットやジャンボシャボン玉の実験ブース等を運営しました。他に、射的やプラ板教室、ネイルアート等の出店のお手伝いも積極的に行っていました。

この中央中学校区の取組は、「小学生が中学生の活躍する姿を観て、近い将来の目標とする」「中学生が自己肯定感や自己有用感を高める」等、小中一貫教育の効果をより高めることにつながっています。

また、中学生にとっては、「校区内の小学校の行事の場で、日頃の学習や部活動で培った力を発揮し活躍する」ことによって、子ども自身が地域の担い手として活動するという貴重な経験をしていることとなります。さらに、小学生や小学校の先生方、保護者・地域の方々等、様々な人たちの交流を通してコミュニケーション能力や人間関係力が育まれていきます。

今回の中学生による地域学校協働活動への参加は、子どもたちの「学びと育ち」を支え、力を伸ばす好事例の取組となっていると言えます。